

# 令和4年度 第2回学校運営協議会

1 日 時 令和4年7月6日（水）10:00～12:00

2 会 場 本校校長室

## 3 参加者

(1) 学校運営協議会委員

常葉大学教育学部初等教育課程 講師

協同組合静岡流通センター 専務理事

弁護士法人ましろ総合法律事務所 代表弁護士

麻機学区自治会連合会 防災委員長

静岡市都市局都市計画部緑地政策課 課長

静岡市障害者協会 静岡市障害者相談支援推進センター 事務局長

本校PTA会長（欠席）

(2) 本校職員

校長、副校長、教頭、事務長、部主事（小・中・高）

## 4 会議次第

(1) 開会 校長挨拶 日程説明

(2) 麻活の紹介（各学部の取り組み）

(3) 麻機遊水地第3工区見学（高等部遊水地再生事業班）

(4) グループ協議 「麻活の充実」と「麻活の発信について」

(5) 閉会

## 5 会議内容

(1) 開会

ア 校長挨拶

- ・コロナの感染予防を徹底して小中学部は運動会を開催することができた。また、高等部は職場実習を終えた生徒もいる。それぞれ児童生徒の頑張っている姿が見られている。
- ・コロナの状況を踏まえて、どのような形で学校行事を行うことができるか、子どもたちのためにどんなことができるか、なくても良いものなのかなど、悩んでいることもあるので、御助言いただきたい。
- ・本日は本校の特徴ある活動の麻活の紹介をさせていただく。麻活はカリキュラムマネジメントの大きな柱でもあるので、こちらも御助言いただきたい。

イ 協議内容説明

- ・学校教育目標具現化の柱の一つ「家庭や地域、関係機関と共に歩む学校【連携】」について。地域資源を活用する学習(麻活)を充実させ、地域に発信することで、地域に根差した学校になる。本年度の重点取組目標として、学校運営協議会との協働で地域資源への理解とそれを活かした実践、発信を達成していくとしている。そこで今回の本会では『麻活の充実と発信』をテーマに協議を進めていく。

(2) 各学部の麻活紹介…配布資料を基に説明

(3) 麻機遊水地第3工区見学（高等部遊水地再生事業班）

(4) グループ協議

- ・協議の視点を「麻活の充実」「麻活の発信」とし、それについて「感想」「意見・助言」「共同できること」を付箋に書き出し、「麻活のさらなる充実」と「麻活の効果的な発信」について協議する。



< Aグループで提案、話題になったこと >

#### 【感想】

- ・麻活をやったときに教員の意図が子どもに伝わっているか？  
「楽しい」という言葉が出ると良い。
- ・第三工区の参観時の様子から…声を出すことは挨拶につながるので大切にしたい。
- ・高等部生徒が作業後にシャワーを浴びられるような施設があると良い。

#### 【意見】

◎発信に関わることについて

- ・麻活の発信先である「地域」の定義を明確にすると良い。  
誰に何を発信したいのか…具体的にすると発信方法、内容も変わってくる。  
(学校だよりは交流相手校、自治会、県内特支学校に配付)  
子どもたちの頑張っている姿を伝えられると良い。
- ・麻活の取組を障害者雇用している企業に日頃から紹介していくと良い。地道に生徒の取組、頑張りを紹介し、学校の活動に企業を巻き込んでいく(授業の中で指導してもらう)ことが企業と生徒とのより良いマッチングや就労につながっていく。
- ・児童生徒が学ぶことから「提案すること」にシフトすることも良い。  
自分たちの活動を紹介する出番があると良い。  
自分たちが提案したことが地域で活用される。(例 麻機バリアフリーお出かけマップ)
- ・自分たちの取組、成果を地域の人に認めてもらう場をつくる。  
→子どもたちの成果物を形にするのは教員の仕事。  
例) 掲示板の設置(成果の見える化)、作業前後の写真をHPに掲載。

#### 【協働】

◎高等部が行っている遊水地の草刈りについて

- ・生徒や教員以外の人に活動に加わってもらう(一緒に行く、指導していただく)。  
ボランティアや道具の援助、畑の借用、作業中の安全確保のための車両誘導支援などを地域に発信、募集する(HPに掲載)。部農会に声を掛ける。
- ・地域の方と一緒に地域で学ぶ(教員、学校内ではなく)経験。  
→地域の人たちに認められる、褒めてもらえる経験を積む。  
学校外の人から評価してもらうことは本人の自信につながる。  
『地域にとってかけがえのない存在なんだ』ということを地域の方に感じてもらう。  
→共に活動することで、その地域の人が他の場所で子どもたちのことを広めてくれる。
- ・「麻活」で歩く活動を行うときに遊水地の動植物について教えてくれる人がいるとよい。  
→県土木事務所の職員、大学(東海大海洋学部、静大農学部)の先生、大学生のサークルなどに声を掛ける、HPで募集する。

その他

- ・土日に路線バスが通っていないのは問題。
- ・交流活動を盛んにしたい。
- ・移動支援を利用して麻機地区のイベントなどに参加するのも良い。

< Bグループで提案、話題になったこと >

**【感想】**

- ・作業学習の要素がある活動の際、教育活動としてのねらい、評価はどうしているか。

**【意見】**

- ・道路沿い1 m以内の草刈りは危険度が高いため、土木事務所に実施してもらおうと良い。交通整備員の配置やカラーコーンの増設も良い。
- ・山を歩こうということで、石神林道を使ってみると良いと思う。
- ・緑地公園やセンターハウスを活用してほしい。センターハウスに生徒が撮影した写真や作品を飾る等ができる。
- ・麻機遊水地の魅力を写真におさめて、パソコンの壁紙カレンダーにしてみてもどうか。それを学校ホームページにアップし、ダウンロードできるようにしてみてもは。
- ・北特支は大変多くの学習の蓄積がある。地域学習の進め方として、ノウハウを集約して地域の小中高の教員に発信する。
- ・以前たけのこ掘りの話が出ていたが、やってみても良いと思う。

**【協働】**

- ・麻機遊水地保全活動への参加と推進協議会での活動報告
- ・ベータ部会、総会での学校紹介と麻活のプレゼン。
- ・あさちゅー（イラスト）を使って遊水地内の案内板の作成。
- ・大学生と一緒に活動をする。

◎安全面、啓蒙の仕方、バリエーションを広める、学生との関わり等について協議された。

(5)閉会

- ・次回の学校運営協議会は11月9日（水）。時間は10時から正午までを予定。
- ・いただいた御指摘、御意見を受け、改善できるものは改善していきたい。